

沿線企業を対象としたモビリティ・マネジメント

粟生線沿線の事業者を対象に、粟生線の利用状況、新たな粟生線利用の可能性、廃止された場合の影響（通勤手段、集客減少の懸念など）等を把握するアンケートを実施した。

(1) 調査概要

ア 実施目的

- 粟生線沿線企業の通勤実態を把握する。
- 公共交通を使った通勤をすることは、企業にとってもメリットがあることを啓発する。
- 次年度以降の取組も見据え、粟生線活性化に協力頂ける企業を探す。

イ 調査方法

(ア) 調査方法

- 調査票郵送によるアンケート調査方式
 - 調査票の発送：企業については、受注者から一括発送（ただし、神戸市の対象企業のみ、神戸市役所職員が企業訪問し直接配布）。
学校については、自治体職員が直接訪問し配布（ただし、神戸市および大学に対しては、受注者から一括発送）
 - 調査票の返信：回答頂いた調査票については、協議会の事務局である「三木市まちづくり部美しいまちづくり課 神戸電鉄粟生線活性化協議会」宛に返信いただくよう、返信用封筒を配布。

(イ) 調査時期

- 調査票発送：平成 24 年 2 月 13 日（月）より順次発送・配布。
- 回答締切日：平成 24 年 3 月 2 日（金）までに回答頂くよう、調査票に明記。

(ウ) 調査対象

a 企業

- 小野市・三木市
粟生線沿線の企業を対象とするため、駅 2km 圏で登録従業員が 5 名以上の事業所を選定（小野市及び三木市の商工会議所に、事業所の選定を依頼）
- 神戸市
神戸テクノ・ロジスティックパーク（神戸複合産業団地）に進出している企業を選定

b 学校

神戸市西区・北区、三木市、小野市にある、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学から、粟生線沿線の学校を選定
（粟生線の鉄道駅から、おおよそ 5km 圏内にある学校を選定）

ウ 配布枚数及び回収状況（回答サンプル数）

区分		配布数(件)	回収数 (件)	回収率 (回収数/配布数)
企業	三木市	457	168	37%
	小野市	468	110	24%
	神戸市	85	43	51%
	その他	—	2	—
	企業 計	1,010	323	32%
学校	三木市	18	14	78%
	小野市	11	10	91%
	神戸市	19	11	58%
	その他	0	0	0%
	学校 計	48	35	73%
合計		1,058	358	34%

図9 業生線が廃止となった場合、興事業所としてどのような対応をしますか？
可能性のあるもの全てに **を記入してください。**

- 業生線とは無関係なので、また、業生線通勤者はいないので、対応することはない
- 従業員の通勤や乗客に大きな影響があるため、事務所を違う場所に移転する
- 電車通勤が出来なくなるため、雇用する地域を見直す（近隣からの雇用を増やす等）
- 従業員の通勤手段をマイカー通勤に変えてもらう
- 従業員の通勤手段の確保として、送迎バスなどを自主運行する
- その他

図10 業生線の存続に向け、利用者増加等に関する取組があるとしたら、興事業所として、その取組に協力することは可能ですか？

- 積極的に協力したいと思う
- 取組の内容によっては協力したいと思う
- 協力することはない

図11 上記図10で「積極的に協力したいと思う」「取組の内容によっては協力したいと思う」と回答された方にお聞きします。
どのような取組であれば、興事業所として、参加や協力が可能だと思いますか？
以下の選択肢の中から、当てはまるもの全てに **を記入してください。**

- 毎月最終金曜日の『マイバス・マイ電車の日』など、毎月実施しているノーマイカーデーには、従業員にマイカー通勤を自粛するよう働きかける
- 地域全体としてエコ通勤に向けた運動や取組があれば、ノーマイカーデー以外の日でも、電車・バスを使った通勤者が増えるよう働きかける
- 地域全体としてエコ通勤に向けた運動や取組があれば、マイカー通勤が少なくなるように、通勤手当やクルマ通勤を許可する条件・制度などを見直してみる
- 業生線の存続に向けて、マイカー通勤を全面的に禁止する
- 業生線存続のサポーター制度があれば、会員登録する
（サポーター制度：良くある事例では、枕木オーナーや北浜鉄道のボランティア駅長）
- その他、興事業所として参加や協力が可能と思われる取組例がありましたら、ご自由に記入ください。

例えば、飲食店であれば、ノーマイカーデーの日に、電車通勤者に飲食代金を割り引くなど、

3. 業生線の利用促進に向けた取組として、どのような取組が良いと思いますか？

図12 以下の選択肢の中から、“従業員の業生線利用を促す”取組として有効だと感じるもの（業生線の利用者増に繋がるもの）全てに **を記入してください。**

<業生線利用を促すような取組>

- ノーマイカーデーの徹底
- 例えばエコ通勤に積極的な事業所などに対して、表彰する制度の導入
- 業生線利用促進に積極的な事業所に対して、駅広告スペースの無料使用制度の導入

<電車・バスの情報を分かりやすくする取組>

- 駅において、バス停の乗り場案内やバス時刻表の掲示
- インターネット等でのバスの乗継情報等の提供
- 鉄道やバス、出発時刻と到着時刻の両方が分かる時刻表の作成

<電車・バスを快適に利用するための取組>

- 鉄道と連動したバスダイヤの提供
- 電車の車内において、座席の広がりやすさの工夫や空調の改良による快適性の向上
- 駅構内の夜間照明の増設など、駅施設の改善

<従業員に関する取組>

- 業生線とバスとの連携乗車券の提供
- 業生線の新規通勤定期購入者が一定数いる場合、大口特約による割引制度の導入

<駅まで/駅からの移動を支整する取組>

- 駅周辺でのパークアンドライド用駐車場の整備
- 駅前での送迎用駐車スペースの確保
- 駐輪場の整備
- 駅での自転車貸出
- 駅前でのバス停設置
- 駅と事業所周辺とを連絡するアクセスバスの導入

<その他、有効だと思う取組・アイデアがあればご記入ください。>

図13 興事業所の業生線の利用促進に向けて、具体的な説明や提案をして欲しいなど、当協議会にお願いしたいことはありますか？

- 通勤や業務での業生線利用促進に向け、興事業所に合った具体的な提案をして欲しい。
- 通勤や業務での業生線利用促進の取組に興味があるため、活性化協議会が進めている取組状況などの簡単な説明をして欲しい。
- 興事業所の従業員向けに、業生線利用促進に関する講習会・説明会を開催して欲しい。
- 業生線に関するチラシやパンフレットを送付して欲しい。
- 特にお願したいことはない。

図14 今後、業生線の利用促進に向けたイベントがあれば、興事業所として協力出来そうなことはありますか？
当てはまるもの全てに **を記入してください。**

- 事業所としてイベントに参画（出展・後援等）する
- 従業員に参加（イベントへの出席）を呼びかける
- ポスター等の掲出程度なら協力出来る
- 事業所としての参画や参加呼びかけ等、イベントへの協力は難しい
- その他

平成24年2月19日（日）に
 『神戸電鉄業生線活性化シンポジウム』を行います。
 同日のチラシをご確認のうえ、ぜひご参加ください。



4. その他、業生線の利用や活性化に向けて、ご意見がございましたらお聞かせください。

5. 最後に、ご所属とお名前などをご記入ください。
（本調査にご回答頂いた方、ご所属やお名前をご記入願います）

事業所名			
郵便名			
事業所の住所	〒 -		
回答頂いた方の お名前、役職名	役職名	お名前	
連絡先	電話番号	FAX番号	

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

